



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年02月13日 第549号「週刊五十嵐レポート」

財務体質強化セミナーその2

2月3日、9日と東京、大阪で船井総合研究所主催「第19回財務体質強化セミナー」の講師をさせていただきました。

私は大学卒業後、リース会社に13年勤務していたときに、企業から決算書をいただき、経営者に投資計画等を聴取し、与信判断業務を行っていました。そのため毎日、決算書と睨めっこしていました。おかげで決算書を見ると瞬時にその企業の内容が把握できるようになりました。

決算書は企業の成績表であります。損益計算書は1年の業績の結果になります。貸借対照表は企業が設立してから今日までの財務状況が表れています。

貸借対照表(バランスシート)を見ると、その企業の経営者の姿勢が見えます。今は少なくなりましたが、以前は不動産や投資が好きな経営者は固定資産が必要以上に膨らみ、借入金が多い。経営以外のものには関心のない経営者は不動産等を所有しておらず、持たない経営に注力し、流動資産が多く、借り入れも少なく、自己資本が厚い。

今まで出あった中小企業の経営者は、財務を苦手に行っている人が多かったです。そのため、資金の調達と資金の配分が上手く行われていませんでした。しかし、財務の知識を学んでいき、財務体質を良くしていこうという意識を持つと、徐々に財務体質が良くなっていきました。

財務を知らないと、金融機関との付き合い方も苦手になります。金融機関との関係も主導権が握れなくなります。借入をおこすにも、お金を貸してくださいという金融機関からお金を借りてくださいと言われる場合とは違ってきます。(借りてくださいと言われるほうが条件が有利になります)

財務は車でいえば後輪です(前輪は「商品」「営業」)が、経営者として自分の会社の決算書は説明できるようにしておきたいものです。

ちょっと
気になる出来事

2月12日(日)付、日経新聞「企業」欄の「そこが知りたい」にNEC パーソナルコンピュータ社長のインタビューがありました。

NECは昨年7月、パソコン事業をレノボ・グループに統合、中国企業の力を借りて生き残る道を選んだ。レノボ傘下でどう変わったのか。

「当初は不安がなかったわけではない。ただ実際に仕事をする、レノボが中国企業というよりグローバル企業であることに驚く。

レノボの多様性の高さに学ぶことが多い。日本企業は『あうんの呼吸』というが、ともすると社内の意思疎通がおろそかになる。多用な価値観を持つ社員が集まるレノボでは、経営トップが何を考えているのか、社の戦略は何か、など社内コミュニケーションを非常に重視している。社員が会社の方向性をきちんと理解すると、経営のスピードがぐっと上がる」

トップは明確な目標、その目標を達成する戦略を明らかにすること。改めて再確認しました。



一口メモ
成功の秘訣

あなたの夢を一枚の紙に要約してみてください

人生のビジョンと希望にピント合わせをする時、心のさまざまな思いが乱れる。そんな時はフィルターを使おう。将来に対する不明瞭なイメージは、情熱に水をさし、前進する活力を消耗させてしまう。バス旅行で窓の外を流れる景色を眺めるだけでは、あとになって何も記憶に残っていないのと同じで、ただ漠然と見ているだけでは意味がない。

夢を絵に描くことができますか? 恵が苦手なら文章で結構です。一枚の紙に要約してみてください。

将来の夢を絵に描いた、イメージもはっきり定まった、消極的な考えもフィルターできれいに取り除いたなら、次に、その夢が自分にふさわしいサイズかどうか調べてみよう。欲張って口いっぱいにはおぼると、むせてしまう。最初は少しずつ口に入れよう。小さな成功をかさねて基礎をかためる。枝葉を伸ばすのはそれからだ。

ロバート・シュラー著「いかにして自分の夢を実現するか」(三笠書房)

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行
- 町コン経営塾「会社成功塾」 毎週日曜日、月曜日 午前10時~12時。
- 町コン・ランチェスタービジネスセミナー 毎月東京・大阪開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

